

平成18年9月4日

東洋エンジニアリング株式会社

トリニダード・トバゴ向け化学肥料コンプレックス尿素技術供与及び関連業務受注

東洋エンジニアリング株式会社(TEC、取締役社長 山田豊)は、メタノール・ホールディングス社(MHTL)がトリニダード・トバゴ共和国のポイント・リサス工業地区にて計画している、尿素硝安とメラミンを最終製品とする化学肥料コンプレックスにおいて、尿素プラントの技術供与と設計業務、関連付帯設備の設計業務及びコンプレックス全体のインテグレーション業務を受注致しました。

今回の尿素プラントには当社とプスリ社(インドネシア)のライセンス技術である「ACES21」が適用されます。これはACES21の特徴である建設コスト低減及び省エネ向上と、同技術を採用した川化集団有限責任公司(中国)とクジャン社(インドネシア)向けの尿素プラントの成功が客先に評価されたことによるものです。

当社の契約先は本プロジェクトのゼネラルコントラクタであるマンフェロシュタール社(MFS)となります。この受注は当社にとってMHTLとMFSが建設を進めているオマーンのメタノールプロジェクトに続くもので、今後も同社とのアライアンス関係を通じ世界各地での同社の天然ガスを原料とする化学プロジェクト投資案件への参画を期待しています。

< 案件概要 >

客先: メタノール・ホールディングス社 (Methanol Holdings (Trinidad) Limited、略称:MHTL)

契約先: マンフェロシュタール社 (MAN Ferrostaal AG、略称:MFS)

建設地: トリニダード・トバゴ共和国、ポイント・リサス工業地区

設備: アンモニア (1,850 MTPD)、尿素(2,100MTPD)、硝酸(1,520 MTPD)、硝安(1,930 MTPD)、
尿素硝安 (4,300 MTPD)、メラミン (90MTPD x 2)、関連付帯設備

最終製品: 尿素硝安、メラミン

ライセンス: アンモニア (米・ケーピーアール社)

尿素(TECとプスリ社)

硝酸/硝安/尿素硝安 (独・ウーデ社)

メラミン (伊・ユーロテクニカ社)

当社所掌: 尿素ライセンス供与(ACES21)

尿素及びUtility/Offsiteの基本・詳細設計

コンプレックス全体のインテグレーション・サービス

契約形態: ランプサム

プラントの完成予定: 2009年

- 受注の意義：
- 2004年に受注したオマーンメタノールプロジェクトの客先でもあるMHTLとMFSへのアライアンスパートナーとして2件目の受注。今後も同社の投資案件への参画が期待される。
 - 客先は今回の尿素技術として、当社とプスリ社の技術であるACES21を採用。
 - コンプレックス全体でライセンサー兼エンジニアリングコントラクターが 4 社おり、客先は当社にコンプレックス全体のインテグレーション業務を委託。当社のエンジニアリング及びプロジェクトマネジメント能力に対する高い評価と期待が寄せられている。

以上

<お問合せ先> 東洋エンジニアリング株式会社 広報室・渡辺 TEL:047-454-1113